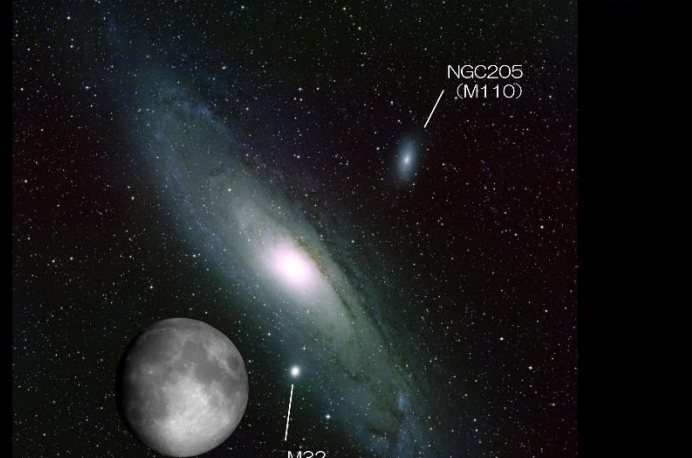


M31 アンドロメダ銀河 (NGC 224)、 距離: 250万光年



「アンドロメダ銀河と月・
見かけの大きさ比較 (合成)」

※とても濃い部分まで含めると、地球上で4度
(満月の直径の8倍) 以上にも広がって見える

(C) REU program, N.A.Sharp/NOAO/AURA/NSF

一部のカラー画像や星図などの資料を当館ウェブで追加配布予定です。

※11月23日午後～12月3日、準備できたものから順次アップしていきます。

QRコードか、高崎市少年科学館ウェブサイト「プラネタリウム・天文」のページからアクセスしてください。

特別放映
『初冬の星空
+ アンドロメダ
銀河...』のページ



「M31 アンドロメダ銀河」
を見つけよう

「双眼鏡」や「小型の望遠鏡」を使うと、透明度の良い夜であれば、天の川が見えないような場所でも見つけれられる

アルフェラツ
(アンドロメダ姫の
あたまの星)

ミラク
(腰の星)

アルマク
(左足の星)

「カシオペヤ座」が高く上り「M」に見える頃は、北の空を向いて、天頂(あたまの真上)の方を仰ぎ見て、「アンドロメダ銀河」を探す

高崎市少年科学館
<http://www.t-kagakukan.or.jp/>

円形の星図の「北」を下にして持ち、北の空を向いて、天頂(あたまの真上)の方を仰ぎ見る

天の川が見える夜空なら、肉眼(双眼鏡などの道具なし)でも「カシオペヤ座」から南の方向を探すと、小さくぼんやりした光の塊として「M31 アンドロメダ銀河」が見つかる



(上) 双眼鏡や望遠鏡の低倍率なら、アンドロメダ座の3つの2等星の真ん中「ミラク」から、「カシオペヤ座」の方へ、(やや暗い2つの星もたどりながら)「M31 アンドロメダ銀河」を見つける。反対側に探すと、空の暗い場所なら「M33」も見つけられる

特別放映『初冬の星空
+ アンドロメダ銀河...』
配布資料(訂正版)

高崎市少年科学館
<http://www.t-kagakukan.or.jp/>